

## 介護サービスの質の評価に対する意向調査

- ・ 市区町村の介護保険担当課のご意向をお答えください。回答される方につきましては、**担当課名、職名、ご連絡先電話番号をご記入ください。（お名前は不要です）**
- ・ （ ）の箇所には、具体的な言葉や数字をご記入ください。
- ・ 数字を記入する欄の回答が0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入ください。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**平成22年3月5日（金）までにご返送**ください。

担当課名		記入者 職名		電話番号	
------	--	-----------	--	------	--

### I. 貴自治体の状況についてお聞きします。

**問1** 以下の項目について、**平成21年3月31日時点**の状況をお答えください。

自治体名	( )	都・道 府・県	( )	区・市 町・村
人 口	( ) 人			
	うち65歳以上高齢者数	( ) 人		
	うち要支援者数	( ) 人		
	うち要介護者数	( ) 人		
地域包括支援センター数	( ) 箇所			
	うち委託しているセンター数	( ) 箇所		
介護保険 施設数	介護老人保健施設	( ) 施設		
	介護老人福祉施設	( ) 施設		
第1号被保険者の介護保険料基準額（月額）	( ) 円			

**問2** 貴自治体による取り組みについてお尋ねします。現在、貴自治体では、介護サービス事業所・施設に対し、介護サービスの質の向上に向けた何らかの独自の取り組みを行っていますか。あてはまるもの**1つに○**をおつけください。

- 1 すでに行っている ⇒ 副問2-1へ
- 2 過去に行っていたが、中止した ⇒ 副問2-1および2-1-1へ
- 3 現在行っていないが、今後行いたい又は行う見込みである ⇒ 副問2-2へ
- 4 現在行っておらず、今後行う見込みはない ⇒ 副問2-2へ

**副問2-1** 上記で「1 すでに行っている」または「2 過去に行っていたが中止した」と回答した方にお聞きします。それはどのような取り組みです（でした）か。あてはまるもの**すべてに○**をおつけください。

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 サービスの質改善マニュアルの作成 | 2 自治体独自の事業所等評価の実施 |
| 3 事業所等への行政職員の訪問    | 4 事業所職員を対象とした研修   |
| 5 その他 ( )          |                   |

**副問2-1-1** 問2で「2 過去に行っていたが中止した」と回答した方にお聞きします。中止した理由は何ですか。あてはまるもの**すべてに○**をおつけください。

- |           |         |          |
|-----------|---------|----------|
| 1 予算上の都合  | 2 人員の不足 | 3 効果が不明確 |
| 4 その他 ( ) |         |          |

**副問2-2** 問2で「3 現在行っていないが、今後行いたい又は行う見込みである」または「4 現在行っておらず、今後行う見込みはない」と回答した方にお聞きします。その理由について、あてはまるもの**すべてに○**をおつけください。

- |           |         |          |
|-----------|---------|----------|
| 1 予算上の都合  | 2 人員の不足 | 3 効果が不明確 |
| 4 その他 ( ) |         |          |

Ⅱ. 介護保険施設（介護老人保健施設、介護老人福祉施設）の質の評価についてお聞きします。

**問3** 施設サービスにおける質の高い介護サービスの提供について、「利用者の QOL の確保」という観点から、重要と思われる要素を 4つまで選び、○をつけてください。また、その中から「最も重要である」と思われる要素を 1つ選び、右側の口の中に番号をご記入ください。

	重要と思われる要素に○をご記入ください (4つまで)
① 個別ケアのアセスメント、サービス計画作成、実施、評価を通じた継続的なケアの実施	
② 利用者が主体的にサービス計画の策定に参画可能	
③ 利用者や家族との適切なコミュニケーション	
④ 居室、食堂、便所、浴室等生活スペースの環境整備	
⑤ 利用者のプライバシーに配慮したケアの提供	
⑥ 利用者の個人情報の保護に係る取り組み	
⑦ 利用者満足度の調査の実施等による利用者の意見の収集	
⑧ 介護技術（栄養管理、口腔ケア、排泄管理、入浴サービス、機能訓練、リハビリ等）の十分な習得	
⑨ 認知症ケアの技術向上	
⑩ ターミナルケア（看取り）の技術向上	
⑪ 施設内事故の防止	
⑫ 感染症や食中毒の予防	

○を付けた要素のうち最も重要と思われる要素の番号を一つお書きください

**副問3-1** その他、「利用者の QOL の確保」という観点から質の高い介護サービスを提供するために重要と思われる要素がありましたら、その具体的な重要性も含め、ご記入ください。

**問4** 施設サービスにおける質の高い介護サービスの提供について、「地域との連携・参画」という観点から、重要と思われる要素を 3つまで選び、○をつけてください。また、その中から「最も重要である」と思われる要素を 1つ選び、右側の口の中に番号をご記入ください。

	重要と思われる要素に○をご記入ください (3つまで)
① 地域包括支援センターの運営協議会への参加	
② 都道府県・市区町村が主催の研修会への参加	
③ 医療機関との適切な連携（急性増悪や看取り等への対応）	
④ 居宅サービス事業所との連携（在宅復帰に向けて）	
⑤ 地域住民を対象とした介護技術教室等の開催	
⑥ 利用者満足度調査の結果の地域住民への公表	
⑦ 地域住民の介護体験やボランティアの受け入れ	
⑧ 施設内行事への地域住民の受け入れ	
⑨ 認知症地域支援体制構築等推進事業への参画	
⑩ 在宅療養者の支援	

○を付けた要素のうち最も重要と思われる要素の番号を一つお書きください

**副問4-1** その他、「地域との連携・参画」という観点から質の高い介護サービスを提供するために重要と思われる要素がありましたら、その具体的な重要性も含め、ご記入ください。

**問5** 施設サービスにおいて、質の高い介護サービスを提供するための基盤となる要素として、重要と思われる要素を**3つまで選び、○をつけてください**。また、その中から「最も重要である」と思われる要素を**1つ選び、右側の口の中に番号をご記入ください**。

		重要と思われる要素に○をご記入ください (3つまで)
①	職員の資格取得（介護福祉士など）等、キャリア開発に向けた支援	
②	職員の継続的な能力開発の実施（OJT等）	
③	職員が専門的ケア（認知症ケア等）の外部研修を受けるための支援	
④	職員が施設内で事例研究会や勉強会などを実施するための支援	
⑤	有給休暇取得促進や時間外勤務の削減など、職員のワークライフバランスへの配慮	
⑥	幹部職員（経営層）と現場の職員間の円滑なコミュニケーション	
⑦	会計記録の作成やアセスメント等、適切な会計管理の実施	
⑧	同業他事業者との情報交換等を活用した効率的・効果的な事業戦略の展開	
⑨	福祉用具の整備等、適切な施設管理の実施	

○を付けた要素のうち**最も重要と思われる要素**の番号を一つお書きください

**副問5-1** その他、質の高いサービスを提供するための基盤として重要と思われる要素がありましたら、その具体的な重要性も含め、ご記入ください。

**問6** 介護サービスの質を評価する際に、アウトカム指標（結果の指標：利用者の要介護度や身体状況の改善割合など）を用いることは、介護保険施設のサービスの質を向上させることに有効であると考えられますか。**介護老人保健施設および介護老人福祉施設それぞれにおいて、各々の①～⑧の指標例を質の評価指標として活用することについて、「有効である」～「有効ではない」の中から番号を1つ選び、○をつけてください**。

	介護老人保健施設のサービスの質を評価する際に				介護老人福祉施設のサービスの質を評価する際に			
	ある 有効で ある	やや有効 である	あまり有効 ではない	有効では ない	ある 有効で ある	やや有効 である	あまり有効 ではない	有効では ない
① 要介護度が改善した者の割合	1	2	3	4	1	2	3	4
② 障害高齢者の日常生活自立度が改善した者の割合	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 認知症高齢者の日常生活自立度が改善した者の割合	1	2	3	4	1	2	3	4
④ より自立した食事摂取が可能となった者の割合	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ より自立した排泄が可能となった者の割合	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ 褥瘡の重症度が改善した者の割合	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ 転倒が発生した件数	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧ 身体拘束を行った件数	1	2	3	4	1	2	3	4

**副問6-1** その他、介護サービスの質を評価するためのアウトカム指標の例がありましたら、具体的にご記入ください。

**副問6-2** 介護サービスの質を評価するためにアウトカム指標を用いることは妥当であるかについて、ご意見をお聞かせください。

Ⅲ. 介護サービスの質を向上させる取り組みについてお聞きます。

問7 以下に示す各々の項目は、介護サービス全般において（地域密着等含む）、介護サービスの質の向上の観点から、どの程度有効であると思いますか。各々の項目について、「有効である」～「有効ではない」のいずれかに1つに○をつけてください。

	有効である	有効であるや	有効ではない	有効ではない
① 給付費適正化（ケアプラン内容点検等）の実施	1	2	3	4
② 介護保険法に規定する「介護サービスの情報公表」制度	1	2	3	4
③ 地域密着型サービスの運営基準に規定する「自己評価・外部評価」	1	2	3	4
④ 社会福祉法に規定する「福祉サービス第三者評価」の受審	1	2	3	4
⑤ 指定基準等の法令遵守状況に係る指導監督の実施	1	2	3	4
⑥ 現行よりも厳しい指定基準を設ける	1	2	3	4
⑦ サービスの質が高い事業所は報酬上で加算の対象とする	1	2	3	4
⑧ サービスの質が低い事業所は報酬上で減算の対象とする	1	2	3	4
⑨ サービスの質向上を目的とした事業所対象研修の実施	1	2	3	4

副問7-1 その他、介護サービスの質を向上させるために有効と思われる取り組みがございましたら、具体的にご記入ください。

Ⅳ. 現在の介護報酬制度等についてお聞きます。

問8 以下に示す介護保険の各サービス（①～⑯）について、それぞれ以下の質問にお答えください。

- A. 「サービス提供体制強化加算の各々の算定要件を満たすことは、当該サービスが良質であることを反映している」と考えられますか。3つの算定要件のうち質を反映していると考えられる要件**全てに○**をつけてください。（各種サービスにより算定要件が異なるため、該当しない要件の欄は斜線となっています）
- B. 「要介護度や身体状況が改善することは、当該サービスが良質であることを反映している」と考えられますか。「反映している」「どちらともいえない」「反映していない」の中から番号を**1つ選び、○**をつけてください。

	A. 各々のサービスにおいて現行のサービス提供体制強化加算の算定要件を満たすことは、当該介護サービスが良質であることを反映しているといえるか			B. 要介護度や身体状況が改善することは、各々のサービスが良質であることを反映しているといえるか		
	一定以上の勤続年数を有する従事者割合	介護福祉士の資格を有する従事者の割合	常勤職員の割合	反映している	どちらともいえない	反映していない
① 訪問入浴介護				1	2	3
② 夜間対応型訪問介護				1	2	3
③ 訪問看護				1	2	3
④ 訪問リハビリテーション				1	2	3
⑤ 通所介護				1	2	3
⑥ 通所リハビリテーション				1	2	3
⑦ 認知症対応型通所介護				1	2	3
⑧ 療養通所介護				1	2	3
⑨ 小規模多機能型居宅介護				1	2	3
⑩ 認知症対応型共同生活介護				1	2	3
⑪ 地域密着型介護老人福祉施設				1	2	3
⑫ 介護老人福祉施設				1	2	3
⑬ 介護老人保健施設				1	2	3
⑭ 介護療養型医療施設				1	2	3
⑮ 短期入所生活介護				1	2	3
⑯ 短期入所療養介護				1	2	3

質問は以上です。ご回答いただき、誠にありがとうございました。